

# モルック

## 1. モルックとは

モルックは、フィンランドのカレリア地方のキッカというゲームをもとに、Lahden paikka 社によって 1996 年に開発されたスポーツです。

モルック（木の棒）を投げて倒れたスキttl（ボーリングのピンのようなもの）の内容によって得点を加算していき、先に 50 点ピッタリになるまで得点した方が勝ちというとても簡単なルールで年齢や性別を問わず楽しむことができます。

## 2. 用具

モルック（投げる棒）

スキttl（木製のピン）

モルッカーリ（投擲のライン）

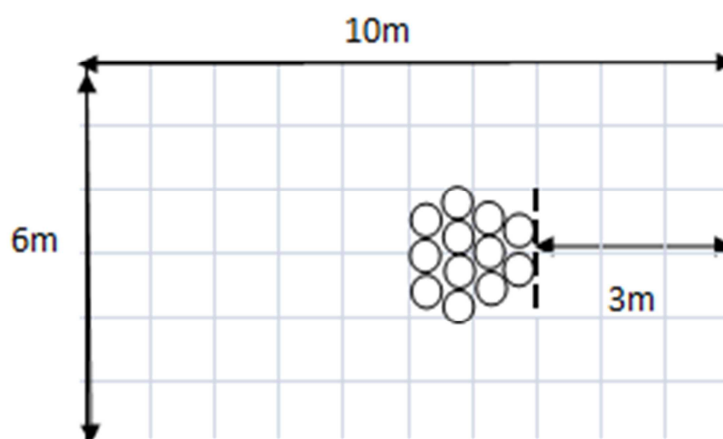
## 3. コート

コートの大きさは最小幅 4m×長さ 10m とし、スキttl は投擲エリアから 3.5m の位置に配置する。

※宮崎市ニュースポーツ大会（モルック）では、

6m×10m とし、スキttl は投擲エリアから 3m の位置。 で実施

※小学 1・2 年の投擲位置は、上記の投擲エリアから 1m 前の位置で投擲可能。



## 4. プレイヤー人数

大会主催者により決定することとする。

※宮崎市ニュースポーツ大会（モルック）では 1 チームの登録人数を 3 名以上 5 名以下とし、チーム全員で投擲順を決定し、試合途中での変更は認めない。

## 5. 試合時間

※宮崎市ニュースポーツ大会（モルック）では、1セットのみ（15分間）  
試合間は5分間

## 6. ルール（別添）※本大会の特別ルールのみ記載

### 1 競技規則

本大会は、日本モルック協会公式ルールガイドブックを基本とし、主催者が定める以下の宮崎市ニュースポーツ（モルック）大会特別競技ルールにより実施する。

### 2 特別競技ルール

- (1) 試合は、主催者で準備したモルック及びスキttlを使用する。
- (2) 審判はスポーツ推進委員が行う。
- (3) 本大会においては上投げによる投擲(とうてき)を禁止とする。
- (4) コートの大きさは6m×10mとし、スキttlは投擲エリアから3mの位置に配置する。ただし、小学1・2年生は投擲エリアから1m前の位置で投擲可能とする。
- (5) 1試合は50点先取または15分間とする。(時間内に勝負がつかないときは後攻まで投擲し、その時点の点数が得点となる)
- (6) 選手は試合前にチーム全員で投擲順を決定し、試合途中での変更は認めない。
- (7) 予選リーグおよび準決勝リーグは3回連続ミスしても失格とはせず、そのままの点数で継続する。決勝リーグでは3回連続ミスしたら失格とし(0点)、相手チームが50点となり、試合終了とする。
- (8) リンクリーグでは勝数により順位を決めるが、勝数が同じ場合は合計得点の多いチームを上位とする。得点と同じ場合は、代表者1名のジャンケンで順位を決定する。
- (9) 競技は「3 競技の流れ」のとおり進行する。
- (10) 投擲は、審判の指示があってから行う。
- (11) スキttlがコートから出てしまった場合、止まった位置からコートライン平行にモルック1本分内側にスキttlを立ててそこから再開する。
- (12) その他、疑義が生じた場合は大会主催者が判断する。

### 3 競技の流れ

- (1) 先攻後攻をジャンケンで決め、先攻がモルックを投擲する。
- (2) 先攻の得点を計測後、後攻がモルックを投擲する。
- (3) 以降の投擲については、試合前に決定した投擲順のとおり行う。どちらかのチームが50点ちょうどになるまで行う。(または15分間)

### 4 その他

- (1) 投擲者は30秒以内に投擲すること。
- (2) 本大会において、37点ルールは適用しない。

## 7. 審判

コートにおけるジャッジメントは1名以上の審判によって判定されます。

※宮崎市ニュースポーツ大会（モルック）では、推進委員が審判。

【参考】公式ルールガイドブック（日本モルック協会）